

大学からのニュース

横浜国大のプレステージを高める快挙！

平成 20 年度文科省グローバル COE プログラム 「情報通信による医工融合イノベーション創生」採択

平成 20 年 2 月に文部科学省グローバル COE プログラムに申請した本学の「情報通信による医工融合イノベーション創生」拠点が 6 月 18 日（水）に採択されたことが公表されました。学際・融合・新領域に申請された 111 件の中から厳正なピアレビュー、海外審査、ヒアリングの激戦を勝ち抜いて、12 件が採択されました。

この採択は、旧帝国大学を中心とする囲い込み、地方国立大学の連携、大学の世界ランキングなどの本学を取り巻く生き残りをかけた競争激化の中で、本学の将来に明るい方向性を与える吉報であり、学内ばかりでなく学外や海外の組織との連携による本学の進むべき新たなパラダイムを示唆するものと確信しています。

採択された背景には、多くの皆さんの奥深い専門的成果の蓄積と幅広い貢献によるものがあります。一つには、平成 14 年度に採択された文部科学省 21 世紀 COE プログラム「情報通信技術に基づく未来社会基盤創生」における本学の卓越した光・電波融合情報通信ネットワーク基盤構築の研究があります。さらに、平成 17 年 9 月に全学組織として設立された未来情報通信医療社会基盤センター（通称：医療 ICT センター）において、本学と包括協定を締結した情報通信研究機構（NICT）と横浜市立大学との連携により、従来の金融・交通・物流・エネルギーなどの社会基盤創生に加えて、医療・福祉の未来社会基盤を支える高度医療社会基盤の創生へと活動を発展させてきた実績があります。

様々な医工連携のアプローチの中でも、ボディエリアネットワーク（BAN）を中心に置き、さらに外部インフラ・システムとつながることで高度な医療・福祉支援サービス・社会インフラにまでその応用範囲を拡大させ、研究、教育はもとより国際標準化（IEEE802.15.6）、産業化、法制化において世界をリードしていきます。この情報通信技術（ICT）と医科学との融合領域である医療 ICT は、本学が最も得意とする情報通信と光電波融合に、ナノバイオ、バイオプロセス、マイクロマシン、バイオマーカ、医療画像処理などの幅広い専門が合流し、



工学研究院 河野隆二 教授
(医療 ICT センター所長)

本学の卓越した情報通信、デバイス、メカ、生体、情報処理の工学分野に、横浜市立大学の臨床医療分野を融合し、医療 ICT に関する世界最高水準の先端研究を通じた教育を行います。また、先進医療福祉で有名なフィンランドのオウル大学との連携を強化し、世界規模の医療 ICT 産業の創生と人類の医療・福祉に貢献するグローバル拠点となることを目指します。これにより、横浜をボストンに並び立つ医工融合の国際都市とすることに注力します。皆様のご参加とご協力を期待し、ご支援を宜しく願います。

◆平成 20 年度グローバル COE プログラム◆ (学際、複合、新領域) 採択拠点

北海道大学 帯広畜産大学 東北大学 東京工業大学 横浜国立大学 京都大学 鳥取大学 九州大学 玉川大学 近畿大学	1 件
東京大学	2 件

このことは、新聞にも大きく掲載されました。

～大学の国際競争力強化へ～

横浜国立大学「国際戦略」を策定！

このたび、横浜国立大学では、「国際戦略」をとりまとめました。大学間の競争は、国内だけではなく、むしろ国際的な平面で激化しています。また、地球環境問題や地球規模での富の偏在など、国境を越えて解決を図っていくべき課題に大学は直面しています。

「国際戦略」は、国際化、国際競争力強化を全学を挙げて図っていく上でのビジョンであるとともに、中期的（2015年度末まで）な行動戦略を打ち出しています。

これにより、研究、教育、世界貢献の各面で真に足腰が強く、激化する国際競争に勝ち抜く大学を横浜の地に作り上げていきます。

【国際戦略の概要】 [全2部構成]

第1部：基本戦略

国際戦略策定の必要性について述べるとともに、国際化、国際競争力強化にあたっての達成目標を設定しました。また、達成目標を実現していくための基本指針を示しています。

第2部：行動戦略

第1部で示した基本戦略を実現するための、中期的な（2015年度末まで）行動戦略を打ち出しました。以下の4つの柱の下、具体的な施策とともに、実施スケジュールも併せて示しています。

〈詳細は大学ウェブサイトから〉

大学ウェブサイト (<http://www.ynu.ac.jp/>)

→大学概要

→【本学が目指すもの】横浜国立大学国際戦略 [PDF]

世界各地で活躍する卒業生を大学ウェブサイトでご紹介しています

本学卒業生を紹介する企画「こちら国大卒業生～世界の都市から、日本の街から～」を大学ウェブサイトでご紹介しています。

第十二回は、経済学部第1期生で、ローソンや岡田屋などで社長、会長を歴任しご活躍され、現在は、中田研究室を主宰されている中田さんにご寄稿いただきました。

中田さんは、喜寿（77歳）を迎えた今年、これまでの経験を生かして論文をまとめ、本学大学院環境情報学府から博士（学術）の学位（論文博士）を取得されました。

工学部出身ではこれまでに、以下の方々をご紹介します。ぜひ、ご覧ください。



萩原忠臣さん（横浜高等工業学校工学部 1933年卒）

鈴木弥栄男さん（工学研究科 1973年修了）

佐藤 登さん（工学研究科 1978年修了）

広報・渉外室では、世界で活躍されている卒業生の方の情報をお待ちしています。情報をお持ちの方は下記までご連絡ください。

★「こちら国大卒業生」へのアクセス★

大学ウェブサイト (<http://www.ynu.ac.jp/>)

→広報・公開・メディア

→「こちら国大卒業生」

横浜国立大学総務部広報・渉外室

TEL: 045-339-3027, 3016

E-mail: press@nuc.ynu.ac.jp